

第2次健康りっとう21（実績照会）

【目指す方向 行動目標】

○運動する習慣をつくろう。

○日常生活の中でからだを動かすようにしよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために実施した下記以外の取組・事業もありましたら記載してください。（単年度実施のものでも構いません）

資料4-1

2. 身体活動・運動

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難/評価 A:改善 A-:改善傾向 B:変化なし(±1%未満) C:悪化 D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R5(2023)年度 取組み計画	R6(2023)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗状況	評価指標		評価	目標 R5 (2023)
						基準値 策定当時の最新データ H24(2012)を基準	最終値 評価当時の最新データ R4(2022)を基準		
・いきいき百歳体操の普及	各学区において自治会等と共催して、いきいき百歳体操を開催します。	健康推進員連絡協議会 民生委員児童委員協議会 老人クラブ	●いきいき百歳体操の参加・協力・支援(各自治会単位等)実施	民生委員 各々の地域にて実施 健康推進員 ●いきいき百歳体操では、各学区や各自治会と協力し実施	B	運動習慣者の割合の増加 20～64歳男性 23.4% 女性 18.2% 65～69歳男性 43.8% 女性 35.4%	運動習慣者の割合の増加 20～64歳男性 27.5% 女性 18.5% 65～69歳男性 28.6% 女性 34.1%	A B C C	↗
						徒歩10分で行けるところへ徒歩で行く人の増加 20～64歳男性 36.1% 女性 29.4% 65～69歳男性 37.5% 女性 28.0%	徒歩10分で行けるところへ徒歩で行く人の増加 20～64歳男性 43.2% 女性 30.5% 65～69歳男性 35.7% 女性 20.5%	A A C C	↗
・ウォーキングの実施	ウォーキングマップ等を活用して、ウォーキングを実施します。	健康推進員連絡協議会	●ウォーキング ①全体事業として ②各学区、各自治会単位でウォーキングの実施	●各学区において、ウォーキングマップを利用しウォーキングを実施。	B				
・就労者への運動の勧めと機会の提供	就労者の運動不足解消のために、運動の勧めと機会の提供を行います。	商工会	●ボウリング大会の実施	●ボウリング大会を予定通り実施した	B				
・出前講座の実施	軽体操(家でも簡単に続けることができる体操)たレクリエーションなどの指導を行います。	社会福祉協議会	●出前講座として、地域で実施されるサロンや老人クラブに職員が出向き、レクリエーションや体操、介護予防講座等を実施 ●地域活動を更に活発化していくため、「老人福祉センター健康づくり講座」の推進や新たな出前講座等を提案	○地域のサロンや老人クラブへの出前講座にて軽体操等を、計画通り実施(年20回) ○老人福祉センターでの健康づくり講座を実施し、啓発・推進を行う(年24回)					

第2次健康りっとう21（実績照会）

【目指す方向 行動目標】

○運動する習慣をつくろう。

○日常生活の中でからだを動かすようにしよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために実施した下記以外の取組・事業もありましたら記載してください。（単年度実施のものでも構いません）

資料4-1

2. 身体活動・運動

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難/評価 A:改善 A-:改善傾向 B:変化なし(±1%未満) C:悪化 D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R5(2023)年度 取組み計画	R6(2023)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗状況	評価指標		評価	目標 R5 (2023)
						基準値 策定当時の最新データ H24(2012)を基準	最終値 評価当時の最新データ R4(2022)を基準		
・各老人福祉センターでの各種教室の開催	なごやかセンターにおいてはカイロプラティック教室(ストレッチ)など、市内各老人福祉センターでからだを動かす機会を提供します。	社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ●老人福祉センターにてレクリエーションや軽体操を実施して、体を動かす機会を通年にわたり実施。 ●老人福祉センターにて介護予防等に関する講座を実施。 ●地域サロン、老人クラブ等に健康づくり講座を実施。 ●なごやかセンターでは既にカイロプラクティック教室は終了し、他の運動教室に移行。 ●フレイル予防教室等企画開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○軽体操等、計画通り実施(580回) ○介護予防の講座、計画通り実施(3回) ○健康づくり講座を出前講座として実施(5回) ○なごやかセンターの運動教室は、介護予防講座として実施(4回) ○サロン「咲くらフレイル予防」の活動支援(1回) ○コミセン自主企画事業フレイル予防教室開催を支援(3回) 					
・健康教室の開催	健康運動指導士を派遣する健康教育を、民生委員児童委員協議会と協力し、開催します。	社会福祉協議会 民生委員児童委員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ●民生委員児童委員協議会と協力して「大宝西リフレッシュ健康教室」開催 <p>コロナ感染症の状況をみて開催の有無を検討する。 社協と民児協両者にて協議し内容等決め実施したい。</p>	<p>社協</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大宝西リフレッシュ健康教室開催支援(5回) <p>民生委員</p> <p>1回/週開催</p>	B				
・ニュースポーツ(スローイングビンゴ、公式ワナゲなど)の普及	市ふれあいニュースポーツ大会の開催をはじめ、ニュースポーツ普及のための派遣事業を行います。	スポーツ推進委員協議会 スポーツ・文化振興課	<ul style="list-style-type: none"> ●ニュースポーツ(「スローイングビンゴ」「公式ワナゲ」「ディスコン」「スリータッチ」等)を通じて、地域と連携を図る ●動画によるニュースポーツの紹介 ●各学区地振協主催の「みんなのスポーツ講習会」へ、スポーツ推進委員を派遣し、支援・助言を実施 ●各種団体等が主催の生涯スポーツに関する研修会や講習会へスポーツ推進委員を派遣し支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●ポッチャやスローイングビンゴ、スポーツチャンバラ等のニュースポーツを広報や講習会等で啓発、普及を図った。 ●各学区地振協主催の「みんなのスポーツ講習会」を全9学区で実施した。 ●各種団体等が主催の生涯スポーツに関する研修会や講習会へスポーツ推進委員を派遣し、さまざまなスポーツの普及を図った。 	B				

第2次健康りっとう21（実績照会）

【目指す方向 行動目標】

○運動する習慣をつくろう。

○日常生活の中でからだを動かすようにしよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために実施した下記以外の取組・事業もありましたら記載してください。（単年度実施のものでも構いません）

資料4-1

2. 身体活動・運動

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難/評価 A:改善 A-:改善傾向 B:変化なし(±1%未満) C:悪化 D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R5(2023)年度 取組み計画	R6(2023)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗 状況	評価指標		評価	目標 R5 (2023)
						基準値 策定当時の最新データ H24(2012)を基準	最終値 評価当時の最新データ R4(2022)を基準		
・ニュースポーツ教室への協力	各学区のニュースポーツ教室への参加に協力します。	社会福祉協議会 民生委員児童委員協議会	●ニュースポーツ教室への参加・協力 コロナ感染症の状況をみて開催の有無を検討する。	社協 ○ 民生委員 1回/週実施	C				
・新体カテストの実施	文部科学省の取り組みを受けて滋賀県が定めた実施要項に則り、全ての小中学校を対象に実施し、実態把握と体力向上に努めます。	市立小中学校	●新体カテストの実施	養護教諭部会 ●新体カテストの実施	B	運動習慣のある児童生徒の増加 小学生 63.3% 中学生 77.8%	運動習慣のある児童生徒の増加 小学生 未実施 中学生 未実施 ※「ふだんの生活習慣アンケート調査」から「新体カテスト」に変わり、設問や聞き方が変わったため比較困難	D D	↗
・運動や外遊びの啓発	1日30分以上の外遊びや運動の必要性を児童生徒や保護者に啓発します。	市立小中学校	小学校 ●マラソンタイム、マラソン大会の実施 ●全学級にドッジボール、サッカーボール、大縄を配付 ●児童運動委員会で運動のきっかけづくりとなる企画を増やす。 ●10分間運動の実施 ●長期休暇になわとびなどの運動の宿題 ●縦割りや学級ごとに「運動遊びの計画・実施」 ●市の水泳大会、陸上大会への参加 ●がん教育など保健の学習で、運動することの大切さを学習 中学校 ●生徒主体でNBC体育の部(体育祭)や生徒会活動(球技会)を積極的に進める。 ●生徒会体育委員会による外遊びの啓発(ボールの貸し出し等) ●部活動への加入を啓発	小学校 ●マラソンタイム、マラソン大会の実施 ●全学級にドッジボール、サッカーボール、大縄を配付 ●児童運動委員会で運動のきっかけづくりとなる企画を増やす。 ●10分間運動の実施 ●長期休暇になわとびなどの運動の宿題 ●縦割りや学級ごとに「運動遊びの計画・実施」 ●市の水泳大会、陸上大会への参加 ●がん教育など保健の学習で、運動することの大切さを学習 中学校 ●生徒主体でNBC体育の部(体育祭)や生徒会活動(球技会)を積極的に進める。 ●生徒会体育委員会による外遊びの啓発(ボールの貸し出し等) ●部活動への加入を啓発	B				

第2次健康りっとう21（実績照会）

【目指す方向 行動目標】

○運動する習慣をつくろう。

○日常生活の中でからだを動かすようにしよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために実施した下記以外の取組・事業もありましたら記載してください。（単年度実施のものでも構いません）

資料4-1

2. 身体活動・運動

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難/評価 A:改善 A-:改善傾向 B:変化なし(±1%未満) C:悪化 D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R5(2023)年度 取組み計画	R6(2023)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗 状況	評価指標		評価	目標 R5 (2023)
						基準値 策定当時の最新データ H24(2012)を基準	最終値 評価当時の最新データ R4(2022)を基準		
	からだを動かして遊ぶ機会が減少しているため、主体的にからだを動かす遊びを中心とした活動を園生活全体の中で確保します。	幼稚園・保育園・幼児園	<ul style="list-style-type: none"> ●散歩や運動遊びなど楽しく体を動かすことができる活動を保育に取り入れ、戸外でのびのびと体を動かせるようにする。 ●自らすすんで運動あそびに取り組めるよう、保育の工夫、環境整備を行う。 	幼児課 ・6月治田保育園にて保護者対象に研修会の機会をもった。 ・徒歩登園をすすめたり、子どもの興味関心に合わせた体を動かす遊びを保育に取り入れられたりした。 ・やってみたいと興味をもった遊びの充実が図れるよう保育の工夫、環境構成を行った。	B				
・運動不足の解消とカルシウム摂取不足の解消に関する啓発	幼稚園、保育園、幼児園の保護者、小学生に対して、カルシウム摂取量を増やすこと、運動により子どもの頃から骨量を高め、維持することの必要性についての知識を普及します。	幼稚園・保育園・幼児園 幼児課 市立小学校 健康増進課 こども家庭センター	<ul style="list-style-type: none"> ●幼稚園、保育園、幼児園の保護者を対象とした研修会の実施 ①2月治田幼稚園・治田保育園 ●給食だより等に掲載を実施 	幼児課 ・6月治田保育園にて保護者対象に研修会の機会をもった。 ・給食だよりにカルシウムの多く含まれた食材等を掲載し、カルシウム摂取の重要性や積極的な運動への関心を高めるようにした。 こども家庭センター 母子保健事業を通じ、必要に応じて運動の必要性について指導を行いました。 健康増進課 ・幼稚園保育園幼児園の保護者を対象にした研修会(骨粗しょう症予防教室)を実施しました。	B	運動習慣者の割合の増加 20～64歳男性 23.4% 女性 18.2% 65～69歳男性 43.8% 女性 35.4%	運動習慣者の割合の増加 20～64歳男性 27.5% 女性 18.5% 65～69歳男性 28.6% 女性 34.1%	A B C C	↗
・スポーツ事業の実施	スポーツ推進計画に沿って、各世代を通じて参加できるくりちゃんファミリーマラソン、ウォーキング事業などスポーツ事業を実施します。	スポーツ・文化振興課	<ul style="list-style-type: none"> ●くりちゃんファミリーマラソンと健康づくり事業として、耐寒アベック登山大会を実施 ●市スポーツ協会と連携し、健康とスポーツを結びつける事業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●くりちゃんファミリーマラソン(栗東市ロード競技三大会実行委員会主催)を11月23日に開催した。参加者数336人。 ●耐寒アベック登山大会(栗東市ロード競技三大会実行委員会主催)を1月14日に開催した。参加者数272人。 ●市スポーツ協会とも連携し、「すまいる体操」、「歩こう会」等を実施し、参加者の健康増進を図った。 	B	徒歩10分でいけるところへ徒歩で行く人の増加 20～64歳男性 36.1% 女性 29.4% 65～69歳男性 37.5% 女性 28.0%	徒歩10分でいけるところへ徒歩で行く人の増加 20～64歳男性 43.2% 女性 30.5% 65～69歳男性 35.7% 女性 20.5%	A A C C	↗

第2次健康りっとう21（実績照会）

【目指す方向 行動目標】

○運動する習慣をつくろう。

○日常生活の中でからだを動かすようにしよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために実施した下記以外の取組・事業もありましたら記載してください。（単年度実施のものでも構いません）

資料4-1

2. 身体活動・運動

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難/評価 A:改善 A-:改善傾向 B:変化なし(±1%未満) C:悪化 D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R5(2023)年度 取組み計画	R6(2023)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗 状況	評価指標		評価	目標 R5 (2023)
						基準値 策定当時の最新データ H24(2012)を基準	最終値 評価当時の最新データ R4(2022)を基準		
・スポーツ施設の利 用案内および混雑 情報の提供	スポーツ施設利用 を促すための情報 提供に努めるととも に、利便性を向上さ せるための混雑情 報の提供について も検討していきます。	スポーツ文化振興課	●インターネットを活用した、事業情 報や施設予約状況情報の提供を実 施	●ホームページにより事業情報や施 設予約状況の提供を行った。 ●フェイスブックにより各種事業の案 内・紹介等を行った。	B				
・トレーニング機器 開放事業	介護予防を目的と して、65歳以上の人 を対象にトレーニ ング機器を使った筋 力運動の機会を提 供します。	長寿福祉課	介護予防事業の実施 ●トレーニング機器開放事業および 講習会の開催 (運動リスクのあるものを対象とした 午後の部のみ開催)	午前の部 204回開催 午後の部 91回開催 講習会 1クール開催	B				
・いきいき百歳体操 の普及・啓発	いきいき百歳体操 の普及・啓発を実施 します。実施希望団 体には技術支援を 実施するとともに、 実施団体への継続 支援を行います。	長寿福祉課	●いきいき百歳体操の普及啓発お よび新規・継続支援の実施 ●いきいき活動ポイント事業で当日 運営に関わるボランティアにポイント を付与(登録必要)	新規立ち上げ支援 2団体(計8回) 継続支援 52団体(計55回) いきいき活動ポイント事業に登録し ているいきいき百歳体操実践団体 43団体	B	運動習慣者の割合の増加 20～64歳男性 23.4% 女性 18.2% 65～69歳男性 43.8% 女性 35.4%	運動習慣者の割合の増加 20～64歳男性 27.5% 女性 18.5% 65～69歳男性 28.6% 女性 34.1%	A B C C	↗
・特定保健指導での 運動指導	特定健康診査の 結果、特定保健指 導の対象となった人 に生活習慣改善に 伴う運動指導を実 施し、メタリックシ ンドロームの改善を 推進します。	健康増進課	●特定保健指導での生活習慣改善 に伴う運動指導(特定保健指導利用 者)	必要に応じてリーフレットを使用しな がら運動指導することができた。 また、11月22日、1月24日、2月19 日、3月14日は健康運動指導士に集 団指導していただいた。	B	徒歩10分で行けるところへ徒 歩で行く人の増加 20～64歳男性 36.1% 女性 29.4% 65～69歳男性 37.5% 女性 28.0%	徒歩10分で行けるところへ徒 歩で行く人の増加 20～64歳男性 43.2% 女性 30.5% 65～69歳男性 35.7% 女性 20.5%	A A C C	↗
・自主活動グループ の活動支援	健康体操の自主 活動グループの活 動を支援します。	健康増進課	●健康体操自主グループから相談 があれば対応	相談を受ける機会がなかった。	B				

第2次健康りっとう21（実績照会）

【目指す方向 行動目標】

○運動する習慣をつくろう。

○日常生活の中でからだを動かすようにしよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために実施した下記以外の取組・事業もありましたら記載してください。（単年度実施のものでも構いません）

資料4-1

2. 身体活動・運動

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難/評価 A:改善 A-:改善傾向 B:変化なし(±1%未満) C:悪化 D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R5(2023)年度 取り組み計画	R6(2023)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗状況	評価指標		評価	目標 R5 (2023)
						基準値 策定当時の最新データ H24(2012)を基準	最終値 評価当時の最新データ R4(2022)を基準		
<p>「ふだんの生活習慣アンケート調査」の実施と活用</p> <p>【変更】 「新体カテスト」の実施と活用</p>	<p>「ふだんの生活習慣アンケート調査」に運動に関する質問項目を設定し、市内児童生徒の現状把握と運動に対する意識の向上を図ります。</p> <p>【変更】 →市内小中学校の全児童生徒を対象とした「新体カテスト」を実施し、実態把握と体力向上に努める。</p>	学校教育課	<p>●文部科学省の取組を受けて、滋賀県が定めた実施要項に則り、市内小中学校の全児童生徒を対象とした「新体カテスト」を実施し、実態把握と体力向上に努める。(5~7月)</p>	市内小中学校の全児童生徒を対象に「新体カテスト」を実施し、実態把握と体力向上に向けた指導の工夫に努めた。(5~7月)	B				
・運動公園等の維持管理	誰もが安心してレクリエーションや運動場として利用できるよう、公園の維持管理を行います。	都市計画課	誰もが安心してレクリエーションや運動場として利用できるよう、公園の維持管理を行います。	都市公園や児童遊園について、安全に利用できるよう修繕や整備を行い、適切な維持管理に努めました。	B				